

## 総会報告

## 一般社団法人日本菌学会 2018 年度第 1 回総会 議事録

日時：2018 年 5 月 25 日（金）15：00 - 17：00

場所：信州大学 伊那キャンパス ゆりの木 研修室

出席者（順不同，敬省略）：役員・幹事 山岡裕一（会長，代議員），矢口貴志（副会長，代議員），岡根 泉（庶務，代議員），清水公徳（庶務，代議員），玉井 裕（日本菌学会会報編集責任者，代議員），出川洋介（国際集会，代議員），中島千晴（会計，代議員），名部みち代（国内集会，代議員），服部 力（編集委員長，代議員），山田明義（国内集会，代議員），鶴海泰久（監事），田中一新（監事）；伴さやか（庶務幹事，代議員），喜友名朝彦（庶務幹事）；代議員 青木孝之，稲葉重樹，折原貴道，景山幸二，糟谷大河，清水由巳，田中栄爾，中桐昭，吹春俊光，保坂健太郎，前川二郎

委任状（五十音順，敬省略）：会見忠則，大園享司，太田祐子（企画・普及，代議員），岡田 元，早乙女梢，田中和明，田中千尋（企画・普及，代議員），星野 保，細江智夫，細矢 剛，松澤 哲宏，渡辺京子

**代議員の定員定則の確認**：総会の開催に先立ち，出席代議員 22 名，委任状 12 名により本総会の成立が確認された。また，オブザーバーとして鶴海監事，田中監事，伴および喜友名庶務幹事の出席が認められた。

**1. 2017 年度事業報告**：資料をもとに以下の事項の報告があり，承認された。

### 1) 庶務関係

- ・会員総数は 2018 年 3 月現在 996 名，うち正会員 627 名。英文誌購読会員廃止に伴う会員種別の変更により国外の正会員と学生会員が微増。逝去会員：終身会員・河野明綱氏（2016 年 1 月），正会員・Vasilyeva Larissa 氏（2017 年 2 月），終身会員・福富雅夫氏（2017 年 4 月），学生会員・山田宗樹氏（2017 年 5 月），名誉会員・Robert Lichtwardt 氏（2018 年 2 月），終身会員・川手昭平氏（没年月日不詳）
- ・年会費未納者リスト（会員除名候補者名簿）を回覧して，7 月 1 日付で除名予定。
- ・理事会，持ち回り総会およびメール会議の開催。
- ・各賞授賞者・授賞論文の推薦・選考について選考委員より報告。
- ・名誉会員・功労会員の推薦・選考について選考委員より報告。
- ・勝美印刷との業務委託契約を 2018 年 3 月に自動更新。

### 2) 学会法人化関係

- ・業務契約書（H29 年 5 月 1 日付）に従い会計士との業務契約を締結。

- ・任意団体から法人への財産移行を H29 年 8 月 9 日付で完了。
- ・各種規則の修正案を理事会ならびに会則検討委員会に諮った。
- ・H30 年 5 月 14 日 10 時～12 時 10 分，勝美印刷内において 2017 年度業務・会計監査を実施。適切に事業が実施されていることが確認された。

**3) 国内集会関係**：資料をもとに，2017 年度の報告があった。

3-1) 環境微生物系学会合同大会（日本菌学会第 61 回大会）：2017 年 8 月 28 日～31 日，仙台

3-2) 菌類観察会（銚子フォーレ）：2017 年 9 月 22 日～24 日，千葉科学大学，千葉県銚子市（君ヶ浜しおさい公園）および東庄町（東庄県民の森）

**4) 国際集会関係**：資料をもとに以下の活動について報告された。

4-1) 第 9 回国際変形菌類分類生態学会議（ICSEM9）：日本変形菌研究会主催，田辺市・南方熊楠顕彰会・日本菌学会共催，2017 年 8 月 18 日～22 日，和歌山県田辺市。参加者：220 名。

4-2) アジア国際菌学会（AMC2017）：2017 年 10 月 10 日～13 日，ベトナム。参加者：198 名（日本人 35 名）。Mycoscience の国際発信力強化の一環として日本菌学会主催国際シンポジウムを企画・実施（日本人講演者：3 名による）。4 名の若手会員に参加経費を支援。

4-3) 台湾日本合同シンポジウム（2017 台日真菌學術研討會）：2017 年 10 月 21 日，台湾。参加者：台湾側約 150 名，日本側 8 名。Mycoscience の国際発信力強化の一環として日本側から植物病理学に関する内容の講演のため，2 名の演者を派遣。

4-4) 国立科学博物館国際シンポジウム 2017：国立科学博物館主催，日本菌学会協力：2017 年 11 月 10 日～12 日，国立科学博物館上野本館講堂。参加者（延べ人数）：193 名。

4-5) IMC 次期開催国決定の協議：IMC 次期開催国決定のため，会長，副会長，国際担当理事の 3 名による投票を実施。次期開催国はオランダ（アムステルダム）に決定。

**5) 企画・普及関係**：資料をもとに以下の活動について報告された。

5-1) 大学生向け講座「大学生のための菌類学入門」：国立科学博物館共催，2017 年 8 月 5 日，国立科学博物館目黒自然教育園。参加者：48 人。

5-2) 中高生向け講座「植物病原菌を観察しよう」：日本大学生物資源科学部後援，2017 年 8 月 31 日，日本大学生物資源科学部。参加者：16 人。

5-3) こどもを対象としたアウトリーチ活動「いきものミクロたんけん隊」：日本微生物生態学会共催，2017 年

11月23日、茨城県自然博物館。参加者：45人。日本菌学会から2名が参加。

5-4) 自然史学会連合主催講演会へのブース出展「身近で不思議な菌の仲間たち!」: 自然史学会連合主催, 日本菌学会協力, 2017年11月4日。アクアマリン福島。担当: 科博・保坂健太郎。参加人数: 多数。

5-5) 国立科学博物館国際シンポジウム2017 Fungi with plants, animals and human beings (菌類と動物・植物・人間の関わり): 国立科学博物館主催・日本菌学会協力, 2017年11月10~12日, 国立科学博物館上野本館講堂。参加者(延べ人数): 160名

5-6) 出版物の販売, その他

- ・環境微生物系学会合同大会において「驚きの菌ワールド」の販売。また, 同合同大会高校生ポスター副賞として同書を提供。
- ・第9回国際変形菌分類生態学会議(ICSEM9), アジア菌学会(AMC2017), 環境微生物系学会合同大会で, 菌学会宣伝ポスター展示, Mycoscienceのチラシ配布, 見本掲示, 菌学会パンフを配布。
- ・八坂書房「日本菌類百選」の協力。
- ・ニュースレターの発行
- ・ホームページにて各種情報を適宜掲載し, SNSで発信。
- ・情報発信のルールを整理し, 本ルールに基づき新HPを開設(2018年4月2日)するとともに, メーリングリスト運用方針を決定。

**6) 編集委員会:** 資料をもとに2017年度の編集・出版について報告された。

1) 学会誌の発行状況

6-1) Mycoscience [IF (2016) 1.014]

Volume 58, 2017 (6号476頁) [契約頁数420(~462)]

58(1): 1-68 (pp. 68), Jan 2017 (総説1編, 論文3編, 短報5編)

58(2): 69-128 (pp. 60), Mar 2017 (論文3編, 短報4編, 資料1編)

58(3): 129-220 (pp. 98), May 2017 (論文6編, 短報4編, 資料2編)

58(4): 221-306 (pp. 86 \*), Jul 2017 (総説1編, 論文7編, 短報2編, 資料1編)

58(5): 307-379 (pp. 74), Sep 2017 (論文5編, 短報4編, 資料1編)

58(6): 380-476 (pp. 97), Nov 2017 (論文7編, 短報2編, 資料3編)

\* オープンアクセス15p分を含む。

Volume 59, 2018 [契約頁数420(~462)]

59(1): 1-97 (pp. 97), Jan 2017 (論文8編, 短報6編, 資料1編)

59(2): 98-191 (pp. 94), Jan 2017 (論文8編, 短報4編, 資料1編)

59(3): 192-262 (pp. 70), Mar 2017 (論文5編, 短報4編)

59(4): ISAM 特集号。掲載予定論文: 論文7編, 資料1編 (pp. 64程度)

・ Vol. 59(4)をISAM特集号とし, 掲載予定論文は論文7編, 資料1編, pp. 64程度。

・ Vol. 59 予想頁数500頁強(契約上限を50頁程度超過見込み)

6-2) 日本菌学会会報(以下, 日菌報)

第58巻, 2017年

58(1): 論文1編, 短報1編, 資料1編を掲載(5月発行)

58(2): 論文1編, 短報1編, 総説(招待原稿)1編を掲載(11月発行)

第59巻, 2018年

59(1): 論文2編を掲載(5月発行)

・ 受理決定次第順次J-STAGEから早期公開。日菌報50(1)~58(2)は公開済。

・ 日菌報41巻~49巻をJ-STAGE搭載作業中。

・ 日菌報59(1)より投稿票の「連絡先」に記入された著者を「責任著者(Corresponding author)」として各論文1頁目左下に電子メールアドレスを記すこととした。

・ クラリベイト・アナリティクス社のBIOSIS収録について: 海外発信に繋がることが期待されることから, BIOSISにロック解除した日菌報の論文PDFファイルを送る方向で承認された。

6-3) 投稿状況(Mycoscience)について

・ 2016年~2017年にかけて2年連続で却下率が減少しており, 2018年度(1月1日~4月23日)も却下率が落ち着きつつある。

・ 国別投稿数: 日本(51), 中国(35), インド(13)ほか, アジア各国からコンスタントに投稿。

6-4) MycoscienceのIFの推移について

・ 2014年から年々低下している(2016年IF 1.014)。

6-5) 編集委員会の開催

・ 第1回編集委員会(2017年4月24日付メール会議): 学会賞受賞論文に関わる招待総説をオープンアクセスとすることについて。

・ 第2回編集委員会2017年8月28日開催(大会期間中)。

・ 第3回編集委員会(2017年9月12日付メール会議): 平塚賞推薦論文の選考について。

6-6) 新オフセットスタイルの導入について(Mycoscience)

・ 59巻(2018年)より, 新オフセットスタイル(エルゼビア統一スタイル)を導入。

・ 引用文献については, APAスタイルを導入。

・ 各パラグラフの最初に自動的にインデントがつく。検索表や新種記載部などこれにそぐわない箇所は, プルーフチェックによる修正。

・ 導入時にエルゼビア社側の不手際でかなりの混乱が認められたが, 概ね落ち着きつつあり, 以前よりはスタイ

ルチェックの手間が省力化。

- ・1 ページあたりの文字数が増えたことから、若干のページ数削減効果が期待できる。

#### 6-7) Mycoscience 投稿規定の改訂

- ・オフセットスタイル変更に伴い規定を改訂。エルゼビアポリシーの点から「ページチャージ」の適用ができないため、「投稿料」として従来と同様のチャージを行う。
- ・プレプリントについて、二重投稿などの問題となる事前掲載には該当しないことを明記することについてエルゼビア社から打診。編集委員会で審議し、投稿規定に追加。

#### 6-8) Elsevier Editorial System (EES) から EVISE への移行

- ・2018年2月21日より新投稿審査システムEVISEに移行。EESとの機能の違いなどから様々なトラブルが発生。担当者に改善を依頼。編集委員に対して対処法を提示。
- ・EESを通じて投稿された論文についてはEESでの審査を継続することになっていたが、急遽全投稿論文がEVISEに移行。移行論文を中心にトラブルが続発、現在も混乱が続いている状況。

#### 6-9) 2017年度平塚賞候補論文の選出

- ・2017年度平塚賞候補論文として、2論文を推薦。

#### 6-10) ISAM 関連特別号

- ・2017年開催の10th International Symposium on Arctic and Alpine Mycology (ISAM10)での発表内容の中から論文投稿を受けたが、出版が大幅に遅れ、59巻4号をISAM特集号とすることとした。

#### 6-11) 名誉会員の追悼文について

- ・Lichtwardt 名誉会員の逝去に伴う追悼文について執筆依頼。

#### 6-12) エルゼビア担当者の変更

- ・5月からエルゼビア担当者が東京支社日本人スタッフから北京支社スタッフに変更。

#### 6-13) 編集経費

- ・Mycoscience: 編集補助謝金(スタイル・チェッカー謝金): 今年度は支出なし。
- ・日菌報: 英文校閲料~3,756円×1回(59(1)分), J-STAGE 掲載作業料:318,000円[41(1)~49(2):129報分, 2018年度予算から支出予定]

**7) 2017年度会計決算案:**資料(資料1)をもとに一般会計、特別会計の報告および2017年度会計監査終了の報告があった。なお、前年度と大きく変わったところは以下のとおり。

- ・法人化に伴い、会計士により全ての帳票類と用途が精査され、貸借対照表の作成が行われた。また、資金の流れが明確となるよう口座間の資金の移動についても記載された。補助金等の入金までの一時立て替えが、これに該当し、当該費目については備考において説明される。
- ・2017年度一般会計決算案の詳細に関する質疑応答を経

て、報告が承認された。

#### 8) 会計監査報告・監査報告(鶴海・田中監事)

- ・2017年度の業務および会計監査を実施し、適切に事業が実施されていることを確認したことが報告された。
- ・2017年度会計監査報告と監査報告について、後者の監査報告を正式な資料として残すことが承認された。

以上、各担当者による報告について審議し、本総会は各事項を承認した。

## 2. 審議事項

### 1) 2018年度事業計画案(清水・岡根)

- ・資料(資料2)をもとに大会・菌類観察会の実施、Mycoscience・会報の発刊、ニューズレターの発行、ホームページの活用、学会賞等の募集、名誉会員・功労会員の推挙、総会・理事会・会員説明会の開催、役員選挙の実施(島根県三瓶山)、シンポジウム、講習会、公開講演会の開催、学会誌の発行、各賞授賞者の募集、名誉会員候補者の推挙、功労会員の推薦、役員選挙の実施について説明があり、了承された。
- ・会則検討委員会答申済みの各種規則の修正案について審議を行い、一部条文の修正を含めて承認された。

### 2) 2018年度国内集会計案(名部・山田)

- ・資料(資料3)をもとに今年度の国内集会計案について説明され、了承された。

### 3) 2018年度国際集会計案(出川)

- ・今年度の国際集会計案について以下の説明がなされ、了承された。

日本菌学会若手会員に対するIMC11参加経費支援について

日本菌学会第62回大会(信州)における日韓合同シンポジウムの開催およびその後の国際菌類観察会の実施について

日本-台湾合同企画について

### 4) 2018年度企画・普及計画案(太田・田中, 代理: 清水)

- ・資料(資料4)をもとに今年度の企画・普及計画について説明され、了承された。

### 5) 2018年度編集計画案(玉井・服部)

- ・資料(資料5)をもとに今年度のMycoscienceおよび日本菌学会会報の編集計画について説明され、了承された。

### 6) 2018年度予算案(中島)

- ・資料(資料6)をもとに今年度の予算案について説明され、了承された。

### 7) その他(山岡)

- ・今年度事業計画の中に、AMC2019の開催準備を加えることが審議、承認され、庶務計画の中に盛り込むことが了承された。

以上

## 2017年度日本菌学会一般会計決算

2018.5

収入の部					
費目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	消化率(%)	備考
<b>会員費</b>	<b>8,102,800</b>	<b>8,833,025</b>	<b>8,321,025</b>	<b>94.2</b>	
正会員	5,656,000	6,358,000	6,179,250	97.2	正会員578人×¥11,000として
学生会員費	558,800	727,925	472,225	64.9	国内学生会員120人×¥5,500; 海外13人×¥5,500×0.95
海外会員費	414,675	397,100	319,550	80.5	海外正会員38人×¥11,000として(-5%分手数料)
英文誌購読会員費	3,325	0	0	0.0	英文誌購読会員廃止のため
賛助会員費	850,000	750,000	750,000	100.0	賛助会員15社×¥50,000として
終身会費預金戻金	620,000	600,000	600,000	100.0	終身会費基金の1割(6,071,613 × 0.1)特別会計参照
<b>出版物販売</b>	<b>2,854,530</b>	<b>2,208,000</b>	<b>3,162,564</b>	<b>143.2</b>	
頁チャージ・超過ページ料	2,450,647	1,800,000	2,574,250	143.0	6000/ページ, 300頁程度と見積もり
50周年記念出版, CD-ROM等	0	0	0	0.0	
会報等	395,883	400,000	588,314	147.1	
DVD販売, 新版用語集	8,000	8,000	0	0.0	希望者への配布; 単価8000円×1部
60周年記念書籍	0	0	0	0.0	
<b>事業費戻入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>	<b>0.0</b>	
<b>学術振興会補助金</b>	<b>3,500,000</b>	<b>3,600,000</b>	<b>3,600,000</b>	<b>100.0</b>	交付内定額
<b>雑収入</b>	<b>1,317,208</b>	<b>1,300,700</b>	<b>2,687,094</b>	<b>206.6</b>	
預貯金利子	600	700	183	26.1	基金利子含む
学術著作権協会	71,358	70,000	96,405	137.7	
広告費	30,000	30,000	0	0.0	
寄付	0	0	0	0.0	
エルゼビア編集経費	1,200,000	1,200,000	1,296,531	108.0	
その他	15,250	0	1,293,975	0.0	菌類の事典印税(144,000円), 口座開設費(1000円), 残額は科研費口座立替分からの繰戻し(立て替え分 1,116,485円, クレジット処理費用18,990円, 会計士支払立替分13,500)
<b>前年度繰越金</b>	<b>26,076,220</b>	<b>27,169,359</b>	<b>27,169,359</b>		
<b>合計</b>	<b>41,850,758</b>	<b>43,111,084</b>	<b>45,140,042</b>		
支出の部					
費目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	消化率(%)	備考
<b>事業費</b>	<b>1,529,610</b>	<b>1,290,000</b>	<b>1,073,653</b>	<b>83.2</b>	
年次大会補助	16,500	100,000	17,871	17.9	
2017年度合同大会準備金	200,000	0	0	0.0	
菌類観察会補助	50,000	50,000	50,000	100.0	
学会賞	78,408	40,000	39,528	98.8	「教育文化賞」「奨励賞」補代・賞状(イデア工房前年なみ); 平塚賞は特別会計
60周年記念出版印刷費	300,000	0	0	0.0	
日菌報記事のPDF権利買取	12,852	100,000	0	0.0	見積中
菌類講座	48,860	200,000	32,994	0.0	
国際シンポジウム	730,000	800,000	933,260	116.7	
教員向け研修	92,990	0	0	0.0	
<b>会報刊行経費</b>	<b>9,192,744</b>	<b>10,880,000</b>	<b>8,457,363</b>	<b>77.7</b>	
Mycoscience・日菌報編集費	312,000	1,200,000	18,489	1.5	
ニュースレター編集費	0	0	0		
Mycoscience 出版費	6,680,000	6,680,000	5,850,000	87.6	マーケティング、プロモーション活動費含む
日菌報印刷費	1,241,490	700,000	679,460	97.1	
ニュースレター印刷費	326,800	350,000	486,014	138.9	
一部オープンアクセス化費用	0	1,000,000	772,538	77.3	
アジア地域新種等公表	0	300,000	249,248	83.1	
雑誌等発送費	632,454	650,000	401,614	61.8	
<b>運営経費</b>	<b>3,959,045</b>	<b>4,970,920</b>	<b>5,644,281</b>	<b>113.5</b>	
役員選挙	276,007	0	0	0.0	
業務委託費	1,448,720	2,023,920	2,555,648	126.3	
ホームページ維持費	36,000	567,000	470,464	83.0	
団体分担金	80,000	200,000	226,820	113.4	2016年度IMA年会費未納
交通費	1,101,230	1,200,000	1,102,594	91.9	
事務通信費	26,568	30,000	213,265	710.9	
法人化対応費	285,850	0	0	0.0	
会計士費用	0	150,000	179,000	119.3	
諸雑費	519,203	600,000	765,252	127.5	クレジット決済費用含む
各種手数料	185,467	200,000	131,238	65.6	振込手数料を含む
<b>予備費(次年度繰越金)</b>	<b>27,169,359</b>	<b>25,970,164</b>	<b>29,964,745</b>	<b>115.4</b>	
<b>合計</b>	<b>41,850,758</b>	<b>43,111,084</b>	<b>45,140,042</b>		

## 2017年度日本菌学会特別会計決算

2018.5

## 【終身会員費基金】

収入の部				
費 目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	備考
前年度繰越金	5,686,513	5,451,613	5,451,613	
終身会員費(新規納入分)	385,000	400,000	440,000	
利息	100	0	0	
<b>合 計</b>	<b>6,071,613</b>	<b>5,851,613</b>	<b>5,891,613</b>	

## 支出の部

費 目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	備考
一般会計繰入	620,000	600,000	600,000	4/1時点の10%を一般会計に繰り入れる
予備費(次年度繰越金)	5,451,613	5,251,613	5,291,613	
<b>合 計</b>	<b>6,071,613</b>	<b>5,851,613</b>	<b>5,891,613</b>	

## 【平塚基金】

収入の部				
費 目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	備考
前年度繰越金	2,235,440	2,216,050	2,216,050	
寄付	0	0	0	
利息	50	0	0	
<b>合 計</b>	<b>2,235,490</b>	<b>2,216,050</b>	<b>2,216,050</b>	

## 支出の部

費 目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	備考
平塚賞(楯代)	19,440	58,968	19,440	
振り込み手数料	0	432	432	
予備費(次年度繰越金)	2,216,050	2,156,650	2,196,178	
<b>合 計</b>	<b>2,235,490</b>	<b>2,216,050</b>	<b>2,216,050</b>	

## 【菌学振興基金】

収入の部				
費 目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	備考
前年度繰越金	6,809,401	6,643,587	6,643,587	
大会余剰金				
寄付				
利息	100	0		
<b>合 計</b>	<b>6,809,501</b>	<b>6,643,587</b>	<b>6,643,587</b>	

## 支出の部

費 目	2016年度決算	2017年度予算	2017年度決算	備考
若手国際会議参加費補助	0	200,000	200,000	AMC,日台シンポ
日韓シンポジウム	165,050	0	0	
振込手数料	864	1,000	1,296	
予備費(次年度繰越金)	6,643,587	6,442,587	6,442,291	
<b>合 計</b>	<b>6,809,501</b>	<b>6,643,587</b>	<b>6,643,587</b>	

## 【資料 2】

## 1) 本年度事業の概要

日本菌学会 62 回大会(信州大学), 2018 年度菌類観察会(島根県三瓶山), シンポジウム, 講習会, 公開講演会の開催, 学会誌の発行, 各賞授賞者の募集, 名誉会員候補者の推挙, 功労会員の推薦, 役員選挙

## 2) 会議の開催について

- ・第 1 回理事会: 2018 年 4 月 14 日 東京理科大学葛飾キャンパス
- ・第 2 回理事会: 2018 年 5 月 25 日 信州大学伊那キャンパス
- ・第 1 回総会: 2018 年 5 月 25 日 信州大学伊那キャンパス
- ・第 1 回会員説明会: 2018 年 5 月 26 日 信州大学伊那キャンパス
- ・第 3 回理事会: 2018 年 11 月 (予定)
- ・第 4 回理事会: 2019 年 3 月 (予定)
- ・第 2 回以降の総会: 持ち回り (各賞授賞及び名誉会員

推挙, その他の会議)

- ・各委員会: 適宜
  - ・その他, 必要に応じてメールによる理事会を開催する.
- 3) 名誉会員候補の推挙, 各賞候補, 功労会員候補の募集について  
 名誉会員候補の推挙, 日本菌学会賞, 日本菌学会奨励賞, 日本菌学会教育文化賞, 日本菌学会平塚賞, 日本菌学会会報論文賞の授賞者, および功労会員候補の募集を行う.
- 4) 業務委託・会誌の出版について  
 前年度に引き続き, 勝美印刷に会員管理, 出納業務, カード決済, サーバー管理運営等の業務委託を行う.  
 Mycoscience はエルゼビア社に, 日本菌学会会報及びニュースレターは, 勝美印刷に出版委託を行う.
- 5) 役員選挙について  
 2019-2020 年度代議員, 会長・副会長・理事候補者選出選挙を行う.  
 選挙管理委員: 糟谷大河氏, 渡辺京子氏.

### 【資料3】

2018年度の事業計画案

#### 1. 日本菌学会第62回大会（信州）

会期：2018年5月25日（金）－5月27日（日）

会場：信州大学伊那キャンパス（農学部）F棟（総合実験実習棟）および講義棟

日本菌学会第62回大会会長：福田正樹氏（信州大学農学部）

25日：各種委員会等（9:00～17:00）、役員合同懇親会

26日：会員説明会ならびに授賞式・受賞講演（9:00～）、中高生ポスター発表、日韓国際シンポジウム、中高生ポスター発表表彰式、一般口頭発表、懇親会

27日：一般口頭発表、一般ポスター発表、学生口頭発表表彰式、閉会式

#### 2. 2018年度日本菌学会菌類観察会（島根フォーレ）

・会期：2018年9月22日（土）－24日（月・祝）

・会場：島根県大田市三瓶町、三瓶山周辺

・実行委員長：長澤栄史氏（菌蕈研究所）

・共催：島根県立三瓶自然館サヒメル、島根県中山間地域研究センター、菌類懇話会

・受付・説明会：島根県立三瓶自然館サヒメルレクチャールーム（大田市三瓶町多根 1121-8）

・懇親会：国民宿舎さんべ荘（島根県大田市三瓶町志学 2072-1）

・同定会場：三瓶山北の原キャンプ場 多目的ホール（大田市三瓶町多根 1121-1）

・宿泊施設：三瓶山北の原キャンプ場 ケビン

・募集人数：70名（定員になり次第締め切り）

・参加募集：日菌報59巻1号及び日本菌学会ホームページを通じて行う。

#### 3. 2019年度主要国内集会の開催案策定

##### 1) 日本菌学会第63回大会

会期：2019年5月24日（金）－26日（日）

開催場所：秋田県立大学生物資源科学部

大会会長：村口元（秋田県立大学）

大会日程：

5月24日（金）：編集委員会、理事会、総会、合同懇親会

5月25日（土）：総会・授賞式、特別講演またはシンポジウム、懇親会

5月26日（日）：一般講演、ポスター発表、表彰・閉会式

##### 4. 2019年度日本菌学会菌類観察会

開催地：青森県、岩木山、白神山地とその周辺

開催日程：2019年9月6日（金）－8日（日）

実行委員長：佐野輝男（弘前大学）

共催団体：弘前大学、日本菌学会東北支部、青森県きのこ会、白神キノコの会、三沢きのこ同好会、青森きのこ友の会、

### 【資料4】

#### 1. 教員のための菌類講座

・松本淳氏が担当（7月8日、日本大学生物資源科学部にて）

#### 2. 自然史セミナー 菌類学入門（大学生対象）

・細矢剛氏が担当（8月4日、国立科学博物館自然教育園）

#### 3. 高校生のための菌類講座

・折原貴道氏が担当（8月26日、神奈川県立生命の星・地球博物館）

#### 4. 自然史学会連合主催講演会へのブース出展

・保坂健太郎氏が担当（10月28日、富山市立科学博物館）

#### 5. 微生物生態学会との共催アウトリーチ（菌学会の活動紹介なども可能）

・細矢剛氏およびボランティアが担当（11月下旬、茨城県自然博物館）

#### 6. 日本菌学会ニュースレターの発行

・白水幹事が編集委員長を担当

#### 7. 日本菌学会ホームページの充実と英文ページの作成

・企画・普及担当理事・幹事が担当

#### 8. SNSを通じた情報発信

・田中幹事他が担当

#### 9. 国際イベント（IMCなど）での宣伝活動（パンフレットの改訂および増刷）

### 【資料5】

#### 1. Mycoscience 出版計画

・Elsevier社に出版委託を行う。年間契約ページ420ページとし、6号分を出版する。ページ数が増えた場合は超過ページ料金（15000円/頁）で対応する。

・学会負担（科研費）による一部論文オープンアクセスを継続する。

#### 2. 日本菌学会会報（以下、日菌報）出版計画

・日菌報第59巻1号（5月）、2号（11月）を発行する。

・J-STAGEに日菌報バックナンバー[41(1)～49(2):129報分]を掲載する。

#### 3. 平塚賞候補論文および日本菌学会報論文賞授賞論文の推薦

・平塚賞候補論文の選出について、メール会議を通じて選考を行い推薦する。

## 2018年度日本菌学会一般会計予算

2018.5

収入の部					
費目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	増減(%) 対FY2017決算	備考
<b>会員費</b>	<b>8,833,025</b>	<b>8,321,025</b>	<b>8,392,800</b>	<b>100.9</b>	
正会員	6,358,000	6,179,250	6,350,000	102.8	正会員578人×¥11,000として
学生会員費	727,925	472,225	503,800	106.7	国内学生会員84人×¥5,500; 海外8人×¥5,500×0.95
海外会員費	397,100	319,550	209,000	65.4	海外正会員20人×¥11,000と して(-5%分手料)
賛助会員費	750,000	750,000	750,000	100.0	賛助会員15社×¥50,000として
終身会員費預金戻金	600,000	600,000	580,000	96.7	終身会員費基金の1割、特 別会計参照
<b>出版物販売</b>	<b>2,208,000</b>	<b>3,162,564</b>	<b>2,200,000</b>	<b>69.6</b>	
頁チャージ・超過ページ料	1,800,000	2,574,250	1,800,000	69.9	6000/ページ、300頁程度と 見積もり
50周年記念出版、CD-ROM等	0	0	0	0.0	
会報等	400,000	588,314	400,000	68.0	
DVD販売、新版用語集	8,000	0	0	0.0	希望者への配布; 単価8000 円×1部
60周年記念書籍	0	0	0	0.0	
<b>事業費戻入</b>	<b>0</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>	<b>0.0</b>	
<b>学術振興会補助金</b>	<b>3,600,000</b>	<b>3,600,000</b>	<b>3,800,000</b>	<b>105.6</b>	交付内定額
<b>雑収入</b>	<b>1,300,700</b>	<b>2,687,094</b>	<b>1,325,600</b>	<b>49.3</b>	
預貯金利子	700	183	600	327.9	基金利子含む
学術著作権協会	70,000	96,405	80,000	83.0	
広告費	30,000	0	30,000	0.0	
寄付	0	0	0	0.0	
エルゼビア編集経費	1,200,000	1,296,531	1,200,000	92.6	
その他	0	1,293,975	15,000	1.2	菌類の事典印税など
AMC開催関連前受金	0	0	0	0.0	
<b>前年度繰越金</b>	<b>27,169,359</b>	<b>27,169,359</b>	<b>29,964,745</b>	<b>110.3</b>	
<b>合計</b>	<b>43,111,084</b>	<b>45,140,042</b>	<b>45,683,145</b>		
支出の部					
費目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	増減(%) 対FY2017決算	備考
<b>事業費</b>	<b>1,290,000</b>	<b>1,073,653</b>	<b>2,643,000</b>	<b>246.2</b>	
年次大会補助	100,000	17,871	100,000	559.6	
菌類観察会補助	50,000	50,000	50,000	100.0	
学会賞	40,000	39,528	78,000	197.3	「教育文化賞」「奨励賞」補 代・賞状(イデア工房前年な み); 平塚賞は特別会計 アジア地域新種公表へ費目 替え
日菌報記事のPDF権利買取	100,000	0	0	0.0	
菌類講座	200,000	32,994	25,000	0.0	
国際シンポジウム	800,000	933,260	800,000	85.7	科研
国際情報発信(AMC)	0	0	1,500,000	0.0	科研
教員向け研修	0	0	90,000	0.0	
<b>会報刊行経費</b>	<b>10,880,000</b>	<b>8,457,363</b>	<b>9,525,000</b>	<b>112.6</b>	
Mycoscience・ 日菌報編集費	1,200,000	18,489	200,000	1081.7	
ニュースレター編集費	0	0	25,000		
Mycoscience 出版費	6,680,000	5,850,000	6,300,000	107.7	マーケティング、プロモーション 活動費含む
日菌報印刷費	700,000	679,460	700,000	103.0	
ニュースレター印刷費	350,000	486,014	450,000	92.6	
一部オープンアクセス化費用	1,000,000	772,538	1,000,000	129.4	科研
アジア地域新種等公表	300,000	249,248	350,000	140.4	科研
雑誌等発送費	650,000	401,614	500,000	124.5	
<b>運営経費</b>	<b>4,970,920</b>	<b>5,644,281</b>	<b>5,755,000</b>	<b>102.0</b>	
役員選挙	0	0	280,000	0.0	
業務委託費	2,023,920	2,555,648	2,500,000	97.8	
ホームページ維持費	567,000	470,464	415,000	88.2	
団体分担金	200,000	226,820	80,000	35.3	2016年度IMA年会費未納
交通費	1,200,000	1,102,594	1,200,000	108.8	
事務通信費	30,000	213,265	200,000	93.8	
法人維持費	0	0	100,000	0.0	税、登記
会計士費用	150,000	179,000	180,000	100.6	
諸雑費	600,000	765,252	600,000	78.4	クレジット決済費用含む
各種手数料	200,000	131,238	200,000	152.4	振込手数料を含む
<b>予備費(次年度繰越金)</b>	<b>25,970,164</b>	<b>29,964,745</b>	<b>27,760,145</b>	<b>92.6</b>	
<b>合計</b>	<b>43,111,084</b>	<b>45,140,042</b>	<b>45,683,145</b>		

## 2018年度日本菌学会特別会計予算

2018.5

## 【終身会員費基金】

## 収入の部

費 目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	備考
前年度繰越金	5,451,613	5,451,613	5,291,613	
終身会員費(新規納入分)	400,000	440,000	400,000	
利息	0	0	0	
合 計	5,851,613	5,891,613	5,691,613	

## 支出の部

費 目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	備考
一般会計繰入	600,000	600,000	580,000	4/1時点の10%を一般会計に繰り入れる
予備費(次年度繰越金)	5,251,613	5,291,613	5,111,613	
合 計	5,851,613	5,891,613	5,691,613	

## 【平塚基金】

## 収入の部

費 目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	備考
前年度繰越金	2,216,050	2,216,050	2,196,178	
寄付	0	0	0	
利息	0	0	0	
合 計	2,216,050	2,216,050	2,196,178	

## 支出の部

費 目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	備考
平塚賞(楯代)	58,968	19,440	19,440	
振り込み手数料	432	432	432	
予備費(次年度繰越金)	2,156,650	2,196,178	2,176,306	
合 計	2,216,050	2,216,050	2,196,178	

## 【菌学振興基金】

## 収入の部

費 目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	備考
前年度繰越金	6,643,587	6,643,587	6,442,291	
大会余剰金				
寄付				
利息	0			
合 計	6,643,587	6,643,587	6,442,291	

## 支出の部

費 目	2017年度予算	2017年度決算	2018年度予算	備考
若手国際会議参加費補助	200,000	200,000	200,000	IMC
日韓シンポジウム	0	0	0	
振込手数料	1,000	1,296	864	
予備費(次年度繰越金)	6,442,587	6,442,291	6,241,427	
合 計	6,643,587	6,643,587	6,442,291	